



いあいちり

会長 昭和四十四年卒 西村(平田)曜子



同窓生の皆さま、お元気でお過ごしでしょうか。一年ぶりにご挨拶させていただきます。

長かったコロナウイルス感染症との闘いはようやく終息しつつあります。以前のような日常も戻ってきたように思いますがまだまだ不安も残っています。

毎日良くないニュースが繰り返し報道されます。ウクライナ情勢は一向に収束の目処が立たず、とても悲しく思います。

また国内だけでなく、世界各地で地震や豪雨などによる大規模な自然災害が発生し大変痛ましく思います。同窓生の皆様の中にも被害に遭われた方がいらっしゃるのではないのでしょうか。紙面を借りまして改めてお見舞い申し上げます。

最近の明るい話題と云えば、大谷翔平選手の活躍や、藤井聡太棋士の活躍など、様々な分野でアスリートと呼ばれる人達の活躍ぶりには勇気づけられます。

同窓生の皆さまの中にも今もなお現役で頑張っておられる方がたくさんいらっしゃいます。とても美しく素敵に生きてらっしゃるなあと尊敬いたします。「ただ生きるのではなく、よく生きる」と教わりました。私自身、そうして最期まで生き抜くことが出来るかどうか分かりませんが、一日一日を無駄にしないで、大切に生きていきたいと思えます。

近年デジタル化が急速に進み、日常生活においても必要不可欠なものとなってきました。この先、予想を超える世の中に変化していくのが楽しみでもあり怖くもあります。

時代はどんどん変わっていきます。同窓会も伝統は守りながら、今の時代に合った組織が望まれます。

令和5年度 同窓会総会のご案内

令和5年度 同窓会総会のご案内

日時 令和5年11月5日(日) 受付 10時20分～
総会：10時50分～(総会后記念写真撮影)
懇親会：12時～
会場 都ホテル京都八条
京都駅八条口南 TEL：075-661-7111
第一部 総会
議事 ・令和4年度決算 令和5年度予算
・会務報告
第二部 懇親会 清興 フルート演奏
昭和57年卒 水野(石崎)ゆりかさん
会費 10,000円(写真代を含む)
※9月28日(木)までに下記口座にお振込み下さい。
(ゆうちょ銀行：口座番号 01010-1-81465 華頂学園同窓会)

どうか現状をご理解いただき、皆様方のご意見やご要望をお聞きしたいと思えます。一人でも多くの方に同窓会の運営に参加していただきたく、ご連絡をお待ち申し上げます。せつかく華頂で結ばれた

ご縁です。「和顔愛語」いつまでも大事にしたい校訓です。



発行所 華頂学園同窓会
〒605-0062
京都市東山区林下町 3-456
華頂女子高等学校内
URL https://www.kacho.ed.jp/
TEL/FAX 075(525)2522

お願い

- 住所変更などは同封のハガキまたはFAXでお知らせください。
現姓、旧姓、卒業年、クラスなどもお書き下さい。
ご意見や原稿の投稿などは華頂学園同窓会宛にお願い致します。

編集兼発行人 西村曜子

会務報告

Table with 2 columns: Date (e.g., 8月下旬, 7~8月) and Activity (e.g., 5年度会報の納品を受ける, 5年度会報作成作業)

# ご挨拶

校長 前田 千秋



同窓会会員の皆さまには、ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃は本校の運営のために格別のご理解、ご協力を頂き誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症、この三年間、毎日何度となく耳目に触れた言葉ですが、ようやく五類移行ということで種々の制限がなくなり、ようやく街にも賑わいが戻ってきたように思えます。

昨秋久しぶりに総会が開催され、多くの懐かしいお顔にお会いすることができましたが、ご参加いただいた皆さんによる校歌斉唱の折、コロナ禍前と変わらず響き渡る歌声が何とも嬉しい感覚を呼び起こしてくれました。

本校でも、入学式・卒業式を始めとする式の次第には必ず校歌が入っていますが、コロナ禍においては「声を出さずに」と指示していたため、この三年間は講堂にピアノのメロディだけが響いていました。昨年の後半以降は「声を出さずに」と指示していないのですが、声を出さなかった期間があまりに長かったせいでしょうか、今年に入っても

生徒席からはほとんど歌声が聞こえてこないという寂しい状況が続いています。

生徒たちにしてみれば入学以来歌ったことがないのでから無理もないのですが、華頂生でありながら校歌（本校の場合は聖歌を含めて）を歌う機会がなく、歌えないまま生徒たちが卒業していくことに非常に危惧を感じています。

校歌はその場に集まった一同が、何の練習もすることなく、一瞬のうち時間に隔たりを越えて親しい交わりを取り戻すことのできる魔法の歌です。スポーツの試合でもライブ会場でも、観客から大声援が送られる日々が復活した今、改めて生徒たちにも機会あるごとに「声を出して歌おう」と伝え続けたいと思います。

また、今年度のスタートに当たり、先生方には昨年引き続き、コロナで途切れてしまった学校文化（校歌も含めて）を復活させ、行事を元に戻し開催する方向で計画を立てて欲しいとお願ひしたのですが、そのあとと先生方のお名前を目で追ううち、この間かなりの先生方の異動があったため、コロナ禍以前の学校行事を経験された先生方は半分しかおられないことに気が付きました。生徒に至っては、小学校の卒業式も行われないうちに、中学に入学した途端に長期休校になるなど我慢の中学校生活を送ってきた一年生はもちろん、他の学年生徒も同様に経験に乏しく、今年の学園祭はまっさらの状態から作り上げることとなりました。

による制限が生徒たちの意識と行動を無意識のうちに縛っているのでしょうか、今年の文化祭・体育祭は自由に企画を考えましょう、と生徒たちに呼びかけてもなかなか自由闊達に意見が出るころまでは戻っていないようです。ただ、長い期間毎年同じような企画を続け、変えることに消極的であった本校にとつて、この中断による刷新が新たな価値を生み出す活動につながる可能性は大きく、生徒たちと先生方双方が知恵を絞って学園祭の再構成に取り組んでいるところです。

同窓会の皆さまには長年にわたつて模擬店・バザー等で多大なご尽力を賜り、学園祭を熱く盛り上げていただきました。

改めて厚くお礼を申し上げます。本年の計画では、従来ご支援をお願いしていた企画は計画に入っておりませんが、学園祭当日のご入場は従来通り特別な手続きなくご自由にお入りいただく予定をしております。この会報の別頁に簡単な日程をあげておりますが、開催日が近づいて参りましたらホームページやSNSにご案内を掲載いたしますので、是非母校にお越しいただき、生徒たちの活動をご覧いただきたく存じます。

本年も新しい先生方を多くお迎えし、職員室も明るい雰囲気になっています。教職員一同今後も精進を重ね、教育に邁進して参りますので、変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 学園現況

副校長 安達 浩士

新型コロナウイルス感染症が二類から五類に移行され、学校生活においてもようやく様々な制限が緩和されました。学校行事においては、二年生は七月三日から六日まで北海道への三泊四日の修学旅行を実施しました。十年以上前の話になりますが、現教頭の杉本美香先生や足立充子先生たちとパターゴルフをしたことを今でも鮮明に覚えております。

さて、今年度の入学生における\*ファミリー推薦による割合は、昨年度同様、全体の約二十%を占めました。とてもありがたいと思っています。六月三日に実施した第一回オープンスクールでは新入生の二十%を超える生徒が、受験生・保護者のキャンパスツアー等に協力してくれました。これは、「自分たちが中学生の時に華頂の先輩方から受けた好印象を、今度は私たちが」の思いからくるものだと思います。また、入学生の保護者・生徒に実施したアンケートでは、本校を進学先に選んだ理由で、昨年度同様「オープンスクールや入試説明会での印象がよかった」が一位になっているのは大変すばらしいことだと思っております。

昨年度の入学生から従来の「教育・保育系」・「教養系」・「理系」の三つの履修モデルコースに加え、社会・メディア分野の学部・学科を目指す生徒に対応するために、「メディア・情報系履修モデルコース」を設置しました。詳しくは本校のホームページをご覧ください。

次に、教員の異動について専任・常勤（契約教員）の先生方について、お知らせいたします。昨年度末をもって、大黒雅之先生（国語科）、廣田充先生（数学科）、三好高志先生（地歴公民科）、上村真桜先生（英語科）、田岡理絵先生（理科）、坂本千夏先生（保健体育科）、永井通先生（保健体育科）が退任されました。なお、田岡理絵先生は本年四月から非常勤講師として引き続きご勤務いただいております。本年四月から佐野泰生先生（国語科）、片山晴佳先生（国語科）、大澤実希子先生（地歴公民科）、笠井起彦先生（英語科）、堀井英明先生（英語科）、井上奈美先生（保健体育科）、森田美緒先生（保健体育科）にご勤務いただいております。また、永沼政彦先生（英語科）には、定年退職後も長年に渡つて非常勤講師として、ご勤務いただきました。私の本校の採用試験の面接でまさかの質問（内容は控えますが）をされたことも懐かしい思い出となっています。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

最後に、日々母校をお気にかけていただいている皆様にご心より感謝いたしますと共に、今後もご支援・ご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。

\*ファミリー推薦・受験生の四親等以内の親族が、華頂女子中学校・華頂女子高等学校・華頂短期大学・華頂短期大学付属幼稚園を卒業卒園、もしくは在学在園の場合にこの制度を利用して受験ができ、入学金（九万円）が免除されます。

# 令和四年度 同窓会総会 報告

副会長 昭和五十一年卒 市川(馬場)宜子

新型コロナウイルス感染症の影響により三年ぶりとなる令和四年度同窓会総会を十月三十日(日)「都ホテル京都八条」にて開催することが出来ました。総会を始めさせていただく前に同窓会のために長きにわたってご尽力いただいた先生方の追悼音楽法要を執り行いました。月かげ・いまささく・帰依文・讃仏・摂益念仏・念仏・四弘誓願の合唱で恩師の先生方に感謝を込めて一同ご冥福をお祈り致しました。そして、西村曜子会長の挨拶、校歌斉唱、学校長前田千秋先生よりお言葉を戴き会計報告、会務報告、会則の改正、役員

選出と議事は滞りなく終了しました。ご参加頂きました皆様全員で記念写真を撮り、副校長の安達浩士先生に乾杯の音頭を取って頂き、懇親会へと入りました。各テーブル毎に思い出話に花が咲き、久しぶりに会えたなつかしい同窓生との再会に、終始笑顔がこぼれていました。清興ではコーラス『華凜』の皆様お一人おひとりの声が重なることで生まれる音色の美しさに心が洗われる思いでした。素敵な時間をどうもありがとうございました。ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

## 九州支部より

昭和三十五年卒 田中(怡土)桂子

皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。悲喜こもも色々な事がありました数年でした。

三年前九州支部会の席で、翌年の幹事さんも決めていただいていたのに開催できなくなるとは思ってもみませんでした。

まさかの三年が過ぎてしまいました。コロナ感染対策としてのみならず、災害も多く発生しており、九州支部は休眠状態でしたが、次回の幹事をお願いしていました生駒昌子さん(昭和五十一年卒)から、「来年は皆さんにお会いしたいので、

支部会を計画しましょう」と、力強いお言葉をいただきました。

来年は皆様に九州支部会へご案内できそうです。五月に入り諸々の規制が緩和され、世の中が動き出した気がします。九州支部会も少しずつ目を覚ましてあります。

九州支部会は会員数も少なく、支部会と言っても懇親会の様な雰囲気です。おいしいお料理を囲みながらおしゃべりを楽しむ和やかな会になりますように、ご参加をお待ちします。宜しくお祈り致します。

今秋十一月五日(日)に開催予定の同窓会総会にはお一人でも多くの方々にお目にかかれまことを心待ちにしております。



## 東京支部より

昭和四十二年卒 桑江(中西)日出子

四年ぶりに東京支部同窓会が再開された事をうれしく思っております。

コロナがなかなか終わる事なく、逆に少しずつ増えつつある中で、京都本部の前田校長はじめ、会長さん達のご協力を頂き、開催する事ができたのは、本当にうれしく思っております。

東京ではここ三年集まったり、電話すらする事もなく、近況もわからない状態でした。そして今回はユニークなお寿司屋さん「渋2 鮎」を紹介させて頂き

## 東京支部同窓会に参加して

昭和六十二年卒 伊藤(木村)好江

六月四日(日)海外からの観光客で賑わう渋谷のハチ公前で集合したのち、会場の「渋2 鮎」さんへ。

長い自粛生活を経て、四年ぶりとなる東京支部同窓会に参加させて頂きました。

大袈裟かもしれませんが、久しぶりにお会いする皆様の無事が本当に嬉しかったです。

コロナ禍で困難もありましたが、先輩方の力強く頑張ってお聞きして、自分もまた頑張らねばという気持ちになりました。美味しいお寿司を頂きながら、仕事や家族の話、旅行や趣味の話など、幅広い話題で盛り上がり、時間が経つ

のを忘れて楽しいひとときを過ごす事が出来ました。

温かくお迎え頂きました桑江支部長はじめ東京支部会の皆様、京都から同行させて頂きました校長先生、西村会長ほか役員の皆様にご心より感謝申し上げます。どうぞ皆様お元気で。またお会い出来る日を楽しみにしております。



## 樟樹会2023

教職員のOB会である『樟樹会』。

昨年同様七月に総会開催です。令和三年亡の佐々木先生も書かれていたように、二期会の貴重な機会です。今年も風光明媚な八瀬が楽しみです。

七月三日(月)の十二時半から受付で、十五時半まで和食レストラン華曆(はなごよみ)で総会と懇親会を行います。

仲間と会えるという喜びを共有して、一期会の貴重な機会となりますように。(佐藤 淳孝 記)

# 華頂で過ごした日々を振り返って

英語科 上村 真桜 (平成二十六年卒)

私が最初に華頂の古門を通ったのは、十五歳の時でした。ご縁があり高等学校に入学し、三年間を高校生として過ごしました。その後、まさか再度お世話になるとは想像もしていなかったのですが、さらにご縁があり大学卒業後に常勤講師として四年間お世話になり、約七年もの日々を華頂で過ごさせていただきました。

七年間、どの瞬間にも私の周りには優しく時には厳しくご指導下さる先生方が周りに沢山いて

教員の先生方から学生時代の私のエピソードを思い出して話してくださったり、安心して戻ってくださることだったと今振り返って思います。また、この知恩院という恵まれた地に学校があることも大きな魅力だと思っております。いつも温かく見守られた環境で健やかに過ごせることに、有り難みを感じていました。

教員生活は簡単なものではなく、生徒達と関われば関わるほど、今まで受けていた思いやりは簡単に生まれるものではないんだと痛感させられる日々でした。先生方が沢山の生徒さんと関わる中で培われた心に、ずっと救われていたのだと思います。

成功も失敗もすべて糧となってくれています。まだまだこの先も挑戦することが多くあると思いますが、華頂で過ごした七年間を誇りに思い、何かしらの形で恩を返していきたいと思えます。至らぬところも多々あったかと思いますが、関わってくださった先生方、生徒の皆さんに心から感謝を申し上げます。また、この場をお借りして感謝の意を述べた機会を下さった同窓会役員の皆様にも深く御礼申し上げます。そして、華頂女子高等学校及び同窓会の今後益々のご発展を祈願しております。

# 心に生き続ける 「和顔愛語」

昭和三十三年卒 寺田 正子 (高尾 美智子)

私を始め当時の友は、この四文字に励まされ色々の苦難を当然の様に乗りこえ、今日を頂いていると思えます。

世界中許しがたい事が次々と、特に京都市と姉妹都市のウクライナのキーウ、昨年二月二十四日、一日にして全てが変わった。あの美しい芸術の町、温かな人々に何故。戦いは許す事は出来ません。その様な中、華頂学園の皆々様のご好意に長年キーウと交流して参りました一人として、ウクライナの方々に代わり感謝申し上げます。

ありがとうございます。思い返せば、1975年より本物のバレエ芸術と教育を目指し、キーウ・バレエ学校と姉妹校を結び両国の子供達による友情あふれる交流が開始、チェルノブイリ原発事故、ソ連崩壊、ウクライナ独立と激動の時代でも途切れる事なくお互いに両国を行き交い今日があります。近年コロナウイルスの影響は我々の交流に痛手となり、ようやく光が見えてきた矢先にウクライナに悲劇が、この日を境にニュースでご存じの通り、駅のホームには

避難する人々と、それを見送る誰かのお父様や息子達でうめつくされました。私達も幼少の頃、この様な目に忘れる事は出来ません。多くの家庭は母子家庭、母親の姿は立派、真似は出来ません。人々が戸惑う中、ミサイル攻撃は続き、鳴り止まない警報、シェルター生活。つい先程迄、日本と同じ様に平和な暮らしをしていた人々の周りで起きています。それでも国立劇場ではオペラ、バレエは毎日交互に対策を考え上演されているとの事、アーティストから裏方さんまで音楽、バレエにと、誇りを持ち、明るく陽気に働いている様です。姉妹校のバレエ学校では妖精の様な子供達が行き交い、ピアノの音色や先生達の

声、森の中のバレエ学校は小鳥やリスの足音が聞こえ、実に幸せな夢のある光景も時間が止まってしまいました。一日も早く平和が、時間が再び動き出す事を祈っています。ウクライナ国立バレエ団(旧キエフ・バレエ団)は昨年に続き、日本の多くの方々の愛情を受け、この夏も寺田宜弘(息子)は芸術監督としてキーウに残っている素晴らしいダンサーと共に来日します。私は八月二十日、ウクライナ独立記念日を祝し、巡業の後十名のダンサーに京都に残って頂き、寺田バレエ・アーティストスクール生と合同公演を開催、ぜひ、いらして下さい。私が、この様にバレエ芸術一筋に生きてこれたのも華頂高校時代の

「和顔愛語」の精神が心に宿っているからです。華頂学園の教えは「人づくり」今の時代にこそ必要だと思えます。次世代を担う若き皆様に、決して今の学びが当たり前ではない事を自覚され「和顔愛語」の精神を大切に前進して頂きたい。私も改めて華頂の卒業生として今は亡き多くの師に感謝申し上げます。ご冥福をお祈り申し上げます。同窓生の皆様、凛とした自然の姿にて後輩の方々のお手本になればよろしいのにねと自己反省と共に筆を取っています。華頂学園のご発展と同窓生、役員の皆々様に感謝申し上げます。

# 偶然

昭和四十年卒  
吉本(菱井)和美

小雪が舞い散る師走、いつもと違うバスに乗って帰る時、私の前に山本先生によく似た方が立っておられ、杖に『山本四郎』と書かれてあるので、

「山本先生」と声をかけ、「華頂女子高校での教え子です。」と答えました。先生は、四条大宮迄出かけるんだと言われ、その元気に驚きました。

そんな偶然を同窓生に話し、同窓会を開こうと考えましたが、出欠等の確認で時間がかかりそうなので三人の同窓生で、急遽お誕生日の祝会を持ちました。その年の二月二十九日で九十九才になられるという先生です。ご自宅近くのお店で、お肉が好きだと聞いていたので、すき焼きセットというささやかなメニューで会食をしました。私達と同じ速さで残さず食べられました。

食事が終わって、先生は華頂時代の話をしてくださいました。あの頃大人数の生徒、先生方も多く、そんな中で山本先生は教職員組合を作られ、その長として先生方の待遇改善に努められたそうです。先の大戦で陸軍兵として出征され、戦後は教育の場に立たれ、私達は日本史を学ぶ事になりました。授業で、「質問はないか。」と聞かれ

ましたが、歴史的事実に何の疑問も感じず、ただ下を向くばかりでした。高校の二年、三年の二年間を担任していただき、修学旅行の列車の通路で寝られた事を懐かしく思い出します。

先生から、日本の未来について学びたかった事が、もつと沢山あつたのです。コロナ禍の前にお会いでき幸いでした。

山本四郎先生、ありがとうございます。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

## コーラス『華凜』に入って

昭和四十八年卒  
長谷川(山中)雅子

令和元年の総会の折にコーラス『華凜』に誘われて、中学からの友人と共に続けています。

最初の頃は母校の音楽室をお借りして練習をしていましたが、コロナ禍となり、現在は東山いきいきセンターで練習をしています。昨年二月に市民創造ステージで呉竹ホールに於いて歌えた事が印象に残っていますが、歌うことが好きで、周りの声量豊かな先輩・後輩に支えられ、楽しいひと時を過ごしています。昨年は同窓会総会で歌わせていた

いただきました。総会の最初に前会長の野田秀雄先生など亡くなられた方々を偲んで音楽法要の曲を歌いました。その後、雰囲気を変えて総会の『清興』として数曲歌わせていただきました。華凜の歌声をお届け出来、嬉しく思っています。

新川和孝先生のご指導の下、月二回練習しておりますので、どうぞお気軽にご参加ください。



## 六年ぶりの音楽科同窓会

コロナ感染症が収束の気配を感じられる五月十三日、京都ブライトンホテルで六年ぶりの音楽科同窓会を開催しました。

お忙しい中、お出にくいところ、先生方五名を含め六十四名の皆さんが出席して、大変楽しい、懐かしい会となりました。

各方面で活躍の同窓生の話を聞いたり、ビンゴゲームで盛り上がり、会の終わりは『早春賦』、

## 文化祭・体育祭

コロナウイルス感染防止のため、ここ数年中止や縮小の措置をとってきた文化祭・体育祭ですが、今年度からは制限なく開催していく運びとなりました。文化祭については文科系クラブの発表だけでなく、各クラスの取り組みを復活することにしました。その取り組みも従来のものではなく、生徒たちが一から考え、ダンスやカフェ、フォトスポット等自分たちで見に来てくれた人を楽しませたいという発想のもとに準備に取り掛かっているところです。体育祭についても、昨年は学年ごとに時間を区切って行いましたが、今年度からは3学年そろって開催する予定です。今までは距離をとるためにやむなく中止していた競技や応援合戦なども復活させ、生徒たちが心から楽しめるものになるよう取り組んでいきます。

～行事予定～

- 9月13日(水)、14日(木) 文化祭
- 11月2日(木) 体育祭
- 11月7日(火) 体育祭 予備日



昭和四十二年卒  
荻野(河田)容子

『浜辺の歌』、『今日の日はさようなら』を全員一丸となって大合唱しました。さすが音楽科同窓会!! 会場に歌声が響き渡りました。出席者の中には感動のあまり涙する方もおられました。

私達が学んだ学舎も取り壊され、更地になつていくようですが、それぞれ皆さんの三年間の思い出は一生忘れることはないでしょう。





## クラブ活動報告

毎日、体育系・文科系クラブ共放課後に楽しく活動しています。特に空手道部は毎年全国大会に出場しております。この1年間でも下記の戦績を残しています。

### 全国高等学校空手道選手権大会(令和4年8月)

- ・女子個人組手 3位 岩城 来幸
- ・女子団体組手 準優勝
- ・学校対抗(女子総合) 準優勝

### 全国高等学校空手道選抜大会(令和5年3月)

- ・女子個人組手 53kg級 優勝 上出 亜矢那  
48kg級 2位 堀 明花
- 59kg級 3位 岡本 美羽  
5位 岩城 来幸
- ・女子団体組手 3位
- ・女子団体形 3回戦敗退

体育系クラブには空手道部以外ではバスケットボール、バドミントン、バレーボール、テニス、卓球、ダンスの各部があり、文化系には美術、写真、家庭科、JRC、イラスト、軽音楽、茶道、華道、理科、競技かるた、書道の各部があります。また、最近の傾向としてバドミントン、テニス、空手道、卓球、ダンス、美術、吹奏楽、軽音楽、茶道、華道、書道部には外部コーチを招き生徒を指導していただいています。クラブによって週1回から6回と活動日数は異なりますが、みんな和気あいあいと先輩・後輩と助け合いながら楽しく活動しています。



## 令和5年度華頂学園同窓会 趣味のサロン 参加者募集!!

秋季

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、この度、長く休止しておりました趣味のサロンを再開することになりました。しかし、休止期間中に学校の対応に変化があり、日曜日に開講できなくなり、土曜日の午後に開講することになりました。又、曜日変更のために下記の通り2講座のみ開講することになりました。

但し、土曜日は学校の行事が行われることもあり、開講日や使用教室が変更されることもあることをご了承ください。

- 【秋期開講日】 令和5年10月～令和6年3月の土曜日 全6回  
 ※かな書道 10月～3月 月1回 第一土曜日 ※箏曲 10月～3月 月1回 第四土曜日
- 【場 所】 高校内の和室・視聴覚教室等で行います。

実施時間(各講座 午後2時～4時)	
<b>《箏曲(生田流)》</b> 和室(2F)	講習日 10/28・11/25・12/23・1/27・2/24・3/23 講師 昭34年卒 井元(吉井)優子氏 楽譜は数字の縦書きで、絃は十三本ですので、初心者の方でも触れば弾ける楽器です。童謡から唱歌等楽しく弾けて、お箏を通じて色々な施設でボランティア活動を楽しんでみませんか。お爪とお爪の輪(1,350円)はご購入下さい。
<b>《かな書道》</b> 視聴覚教室(2F)	講習日 10/7・11/4・12/2・1/6・2/3・3/2 講師 昭40年卒 森下倫子氏(日展作家) 初心者大歓迎です。簡単な「かな書道」です。懐かしい学校で1ヶ月に一度、仲間と共に筆で文字を書いてみませんか? お家にある「書道用具」などお持ち下さい。

- ・申し込み 華頂女子高等学校内 同窓会 <FAX 075-525-2522>  
9月15日(金)までをお願いします。
- ・受講料 1講座(6回)3千円 ゆうちょ銀行:口座番号 01010-1-81465 華頂学園同窓会  
(振込用紙に「〇〇講座 希望」と明記して受講料を納入してください。)

初心者の方大歓迎。多数のご参加をお待ちしております。

## < 同窓生・卒業生の声 >

アットホームな学校です	安心して通わせることができます
<p>姉が毎日楽しそうに通っていたので華頂女子高等学校に入学しました。</p> <p>最初は、女子高校は少し怖いイメージがあったのですが、実際はそんなことはなく、むしろ共学の高校よりも、ありのままの自分を出すことができていると感じますし、先生との距離も近くアットホームな雰囲気の学校です。</p> <p>また、少人数制のため、定期テストの前などは先生にマンツーマンで相談できるなど、とても親身になって相談に乗ってくださいます。</p> <p>「総合華頂探究」という授業で茶道や華道といった作法を学ぶことができるのは、この学校ならではの魅力だと思います。</p>	<p>私は華頂女子高等学校の卒業生です。</p> <p>オープンスクールの際に、娘と久しぶりに訪れた学校は、自分が通っていた頃と外観が少しも変わらず、情緒あふれる「京都らしさ」を感じたのを今でも覚えています。</p> <p>娘も勉強をはじめ、部活動や行事など、自分がやりたいことに積極的に挑戦し、毎日楽しく学校生活を送ることができているようです。</p> <p>大学などからの指定校推薦の枠の多さは心強く、進路の相談にも親身になって対応していただけるので、卒業後の進路に迷う娘を持つ親の立場からしても、安心して通わせることができる学校です。</p>

## < 入学試験に関するお知らせ >

### 【1次入試】

試験日	2月10日(土)	
出願方法	1月15日(月)～23日(火) Web出願	
試験科目	推薦専願	国語・数学・英語(各50分)・面接
	併願	国語・数学・英語・理科・社会(各50分)
受験料	20,000円	

【ファミリー推薦】 ファミリー推薦受験の合格者は、入学金(90,000円)を免除します。

受験対象	学業・人物ともに優れ、成績において一定の条件を満たしていること。 入学後も勉学に励み、充実した学校生活を送る意志がある者。
推薦者	京都華頂大学・華頂短期大学・華頂女子中学校・華頂女子高等学校・華頂短期大学附属幼稚園・華頂女子高等学校等旧制諸学校を卒業・卒園、もしくは、在学・在園中の者の4親等以内の親族。

※事前申請が必要です。「ファミリー推薦出願確認書」を提出してください。  
(お問い合わせ 華頂女子高等学校入試部まで 電話:075-541-0391)

## < イベント情報 >

- ・第2回学校説明会 9月9日(土) 14:30～
- ・第3回オープンスクール 9月30日(土) 9:30～
- ・個別進学相談会 10月7日(土)/21日(土)/28日(土) 9:00～12:00  
11月11日(土)/25日(土) 9:00～12:00
- ・幼稚園教諭体験講座 11月18日(土) 午前
- ・第1回入試説明会 11月4日(土) 14:00～
- ・第2回入試説明会 12月2日(土) 9:30～
- ・個別入試相談会/キャンパス見学会 12月9日(土)/16日(土)/23日(土) 9:00～12:00  
25日(月)/26日(火)/27日(水) 9:00～16:00  
1月5日(金)9:00～16:00 / 6日(土) 11:00～15:00



HP



LINE



Facebook



Instagram